

## 令和5年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	9	議席 番号	18	氏名	鈴木 弘 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	富士宮市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画について			<p>令和4年富士宮市においては、国のデジタル化に対する方針、また、自治体のDX推進の要請等の状況を踏まえ、「富士宮市DX推進計画」を策定した。目標として、市民サービスの向上、業務の質の向上とある。そこで伺う。</p> <p>(1) 令和4年度進捗概要において、令和4年度実施内容として「AIを活用した会議録システム実装」、今後の実施予定として「会議資料等のペーパーレス化の検討」とある。内容を伺う。</p> <p>(2) 施策13にデジタル人材の育成とある。令和4年度の実施内容について伺う。</p> <p>(3) 自治体の業務改善において、プログラミングの知識がなくてもアプリが開発できる「ノーコード」が注目されている。富士宮市において検討はしているのか伺う。</p> <p>(4) 伊豆市は本年度「ノーコード宣言シティー」に参画したという。このことのメリットをどう捉えるか伺う。</p> <p>(5) DX推進において民間組織との連携の考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	富士宮市ゼロカーボン推進戦略について			<p>(1) 「地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による令和元年度温室効果ガス排出量の集計結果」によると、市内に本社を置くCO2排出量の上位5社の内訳は、1位が製紙会社で54,624トンCO2、2位、3位と同じく製紙会社であり、4位が富士宮市清掃センターで14,413トンCO2、5位は製紙会社となっている。そこで伺う。</p> <p>① ゼロカーボンの推進のためには大口排出事業者の取組が欠かせない。これらの事業者の取組状況はいかがか伺う。</p> <p>② 富士宮市清掃センターの排出量も削減していかなければならない。どのように計画を描いているか伺う。</p> <p>(2) 事業者においては「専門家によるアドバイス」が必要とある。このことについて市の取組を伺う。</p> <p>(3) 公共交通における電気バスの導入が必要と考える。計画はいかがか伺う。</p> <p>(4) 先日、株式会社静岡銀行について「CO2排出量を見える化、企業の現状把握、削減計画支援」との報道があり、行政と連携しながら脱炭素実現を目指すという。富士宮市としても連携することは有効と考えるが、当局の考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
3	宴会場のあるホテルの誘致について			<p>(1) 以前ホテル誘致に係る補助制度が創設されたが、この制度を利用した例はあるか伺う。</p> <p>(2) この制度は現在も継続しているか伺う。</p> <p>(3) 現在、どのような誘致活動を行っているか伺う。</p> <p>(4) 公園の一部をホテル用地として提案し、誘致をしようかと考えるが、いかがか伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長